

議 事 録(概 要)

会議名	令和5年度 第1回守山市生涯歯科保健推進協議会
開催日時	令和5年5月18日(木) 午後3時30分から午後5時まで
開催場所	守山市コミュニティ防災センター 1階研修室
委員出席者	大谷委員、松川委員、中島委員、今井委員、藤澤委員、西郡委員、川田委員、戸梶委員、兼松委員 (10名中9名出席) 欠席：野々村委員
事務局	健康福祉部 高橋理事、池田次長 すこやか生活課 堀江課長、川中参事、金沢係長、岩波主任、清水歯科衛生士、中野歯科衛生士
傍聴者	なし
会議次第	1 開 会 2 会長の選出について 3 報告事項 (1) 令和4年度歯科保健事業の取組の結果について 4 協議事項 (1) 令和5年度歯科保健事業の取組(案)について (2) 第3次 健康もりやま21の策定について
会議資料	・令和4年度生涯歯科保健推進協議会委員名簿 ・守山市生涯歯科保健推進協議会設置要綱 資料1：令和4年度歯科保健事業の取組の結果について 資料2：令和5年度歯科保健事業の取組(案)について 資料3-1：第3次 健康もりやま21 (課題のまとめ) 資料3-2：次期計画の策定に向けた基本的な考え方 参考資料1：令和5年度歯科保健推進スケジュール 参考資料2：ライフステージ別 歯科保健事業の取組 (一覧表)

- 1 開 会
- 2 会長の選出について

西郡委員	歯科の会議であるので、大谷委員を推薦したい。
委員	異議なし
事務局	会長は委員の互選により大谷委員にお願いしたい。

大谷委員	岡本歯科医師の後任として会長をさせていただく。よろしくお願いいたします。
事務局	会長から、職務代理の選出をお願いしたい。
大谷委員	歯と口腔の健康は全身の健康にも関連することから、医師会選出の松川委員をお願いしたい。
松川委員	分かりました。

3 報告事項

- (1) 令和4年度歯科保健事業の取組の結果について

4 協議事項

- (1) 令和5年度歯科保健事業の取組(案)について

大谷委員 (会長)	報告事項(1)令和4年度歯科保健事業の取組の結果について、および協議事項(1)令和5年度歯科保健事業の取組(案)についての2点は関連があるので一緒に説明をお願いします。
事務局	資料1、資料2に基づき説明
中島委員	小学生ではなく、中学生に健康教育を実施している理由を教えてください。
事務局	市の取組として4・5歳児と小学生にフッ化物洗口を実施しているが、中学生にはフッ化物洗口は実施していない。中学生になると歯周病が増加をすることから、中学1年生にブラッシングの重要性や自分の健康は自分で守る大切さについての健康教育を実施している。 要望があれば、小学校や保育園・幼稚園での健康教育を実施している。
中島委員	守山市外で小学校の先生をしている方の話によると、コロナ禍であったということもあり、学校から歯みがきを促す声掛けが少なくなり、高学年になるにつれて学校で歯みがきをしている子がほとんどいないということであった。今後、小学校の高学年に対してのアプローチも検討しても良いのではと思う。
事務局	検討する。
松川委員	50歳の健診無料化について、昨年度から検討しているとのことであったが、状況はどうか。
事務局	令和5年度の当初予算では措置されなかったが、6月議会に補正予算を提出する予定である。

大谷委員 (会長)	実感としても、無料である 40 歳の方が多く受診している。50 歳にも効果的であると考ええる。
事務局	ありがとうございます。

4 協議事項

(2) 第 3 次 健康もりやま 21 の策定について

事務局	資料 3-1、資料 3-2 に基づき説明
兼松委員	38 ページ。生涯歯科保健計画最終評価の目標達成状況について。「高齢者の口腔機能に係る取組で悪化している。」となっているが、コロナ禍という状況も踏まえ、そのような結果となった原因は何であると考えられるか。
事務局	高齢者の施設等、コロナによる感染リスク、重症化リスクが高い人たちが集まる場では、感染予防対策に重点が置かれたことで口腔機能の強化や口腔ケアをすることが後回しになったことが考えられる。また、口腔ケアに係るスタッフの不足もあったと思う。 さらに、人と会って話す機会の減少、マスクをしているため口呼吸になるなども口腔機能低下の一因と考えられる。 今後、介護予防事業の一環として口腔体操等をして補いたい。
兼松委員	施設により様々であるが、徐々に口腔ケア等を再開しているところが増えてきた。 資料 1 の 13 ページにある通り、地域リハビリテーション活動支援事業として、3 月に歯科衛生士に来てもらった。このような機会は利用者にはもちろん、スタッフにとってもありがたかった。また機会を設けてほしい。
西郡委員	通所介護事業所での出前講座について。どのような方法で実施する施設を選んでいるのか。
事務局	市内すべての通所介護事業所にチラシを配付し、実施希望の施設に手を挙げてもらった。 短期間であったため、限られた施設での実施であったが、「またこのような機会があれば利用したい」、「市役所に歯科衛生士がいるなら相談したい」といった意見を頂いており、機会を設けていきたいと考えている。

西郡委員	フレイル予防対策として保健所としても研修会を行いたいと考えているが、募集をすると同じ施設ばかりが参加される。広く啓発するために、手をなかなか挙げない施設にも参加してほしいと思うが、難しい。良い考えがあれば共有したい。
大谷会長 (会長)	24 ページの市民アンケートについて。概要や内容について教えていただきたい。
事務局	昨年の8月5日から9月2日まで、市内在住の満15歳以上満75歳未満の方の中から無作為に選んだ2,000人を対象に実施した。そのうち、回答があったのは639件(32.0%)。アンケートの内容は市の健康づくり全般に関するもので、歯科保健に関する内容も含まれている。
大谷委員 (会長)	30ページの「定期的な歯科健診の状況」というのは、平成23年の市民アンケート調査に比べると良くなっているが、現状は54.5%であり不十分であるという見解か。
事務局	その通り。
大谷委員 (会長)	このアンケート調査は定期的に行うのか。
事務局	アンケート調査は計画の進捗状況の確認、最終評価を行うために、次回は次期計画の中間評価年または最終評価年の予定である。
大谷委員 (会長)	アンケート調査は貴重な意見が聞ける場であり、数値も信憑性があるものだと思う。
松川委員	39ページの課題について。「在宅歯科サービスの需要増に備える環境整備が必要である」とあるが、特養などに入所されている方も対象とするのか。
事務局	直接的には健康教育を行い、ケアマネジャーの方にケアプランの中に口腔ケアを加えてほしいと考えている。 入所施設についてもケアマネジャーが対応しているため、ケアプランに歯周病予防、口腔ケアを加えていただくなど、市としては間接的な形ではあるが対応していきたいと思う。
大谷委員 (会長)	他に次期計画に加えてほしいことや意見などはないか。
事務局	中島委員から学校での歯科保健に関する意見が挙げたが、園や学校現場からの意見などはないか。

川田委員	<p>歯みがきの実施については、各園の方針により様々であるので一概に言えることではないが、当園ではコロナ禍であっても、保護者に口腔ケアに対する理解を求め実施してきた。</p> <p>令和2年度は嗽のみという時期もあったが、以降は密を避けるなど感染対策をとりながら歯みがきも行うようにしてきた。</p>
藤澤委員	<p>コロナの時期は音楽による一斉での歯みがきを止めていた。今年もまだ様子を見ている段階であるが、児童の感染状況を見極める中そろそろ再開しようと考えている。</p> <p>子どもたちの様子を見ていると、学校での一斉歯みがきを止めている期間であっても自主的に歯みがきをしている児がおり、それは保護者の家庭での指導や方針があったのだと思う。</p>

5 その他

事務局	<p>次期計画策定にあたり健康に関するヒアリング調査を実施する。各団体宛に調査票を送付するので、協力願う。</p>
-----	---